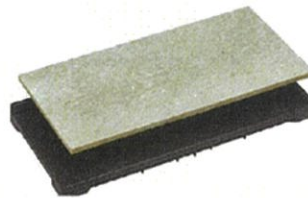


こめパワーマットについて

1. こめパワーマットとは

床土に代わる、無機の鉱物繊維のマット

- 寸法：幅279mm×長さ579mm×厚さ13mm
- 肥料：マット表面に塗布（窒素、リン酸、カリウム）
- 入り数：30枚/ケース
- 梱包形態：ダンボール箱
 - 寸法；幅295mm×長さ600mm×高さ418mm
 - 重量；約4.5kg/ケース
- 種類：肥料成分により4種類の製品があります。



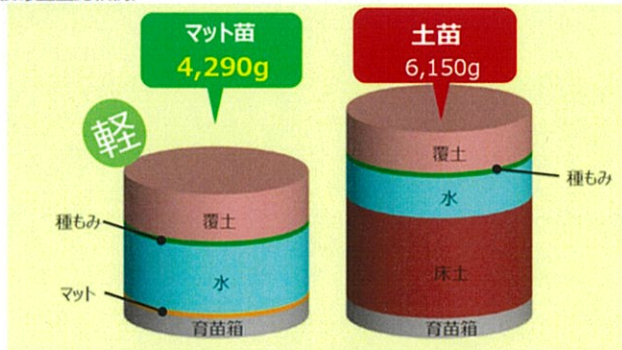
種類	肥料成分 (g/枚)			用途地域
	窒素	リン酸	カリウム	
Kタイプ	2.0	1.5	2.0	寒地
Nタイプ	1.5	1.0	1.0	一般
Dタイプ	0.8	0.8	0.8	暖地
無肥料タイプ※	0.0	0.0	0.0	乳苗用

※チビッコマット

2. こめパワーマットの特長とは

マット苗は土苗より約2kg近く軽くなり、苗を運ぶ労力負担を大幅に軽減します。

<播種直後の重量比較例>



※当社調べ

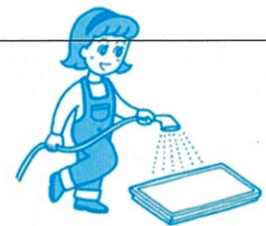
項目	使用資材(g)	
	マット	培土
育苗箱	600	600
床土	-	3,000
マット	140	-
かん水	2,000	1,200
種もみ	150	150
覆土	1,400	1,200
合計	4,290	6,150

3. こめパワーマットの使用手順の概要



4. こめパワーマットのメリットとデメリットについて

NO	メリット	デメリット
1	土苗より約2kg軽い	初期灌水が2ℓと土苗の倍も灌水するので、地温が低く、初期育成が遅い
2	保水性(空隙95%)が大きいので灌水量が土苗に比べて約半分で済む	苗が軽いため田植機背面の滑り台の途中で止まる可能性がある
3	ケイ酸効果で根張りが良く、土苗より活着が良い	田植えの際、軽いので浮き苗になりやすい(特に砂壤土の田んぼ)
4	苗箱の洗浄が楽	
5	田植機の爪の摩耗が少ない	



5. こめパワーマットの留意点

・初期かん水

マット1枚当たり2リットルかん水してください。

かん水量が不足すると出芽ムラ、生育ムラの原因となります。

※スチーム出芽器を使用する場合は、やや少なめの1.8リットル/箱を目安とします。

※播種後、気温が低下する場合は、温度管理に注意ください。

・緑化期の管理(水管理含む)

緑化期は温度管理がとても重要です。

10℃以下の低温に遭うと草丈が伸びにくくなり、その後の根張りも悪くなるため特に夜温が低い場合は、保温シート等をかけ温度を保ってください。この時の水管理は、播種時にたっぷりかけた水が残っているため、かん水は控えめにしてください。

・硬化期の管理(水管理含む)

硬化初期まではかん水は控えめとし、生育・天候に合わせて徐々にかん水量を増やしていきます。かん水は気温の上昇中である午前中に行います。午後にかん水すると、日中温められたマット内の水分が冷えてしまい、根の伸長が抑制されます。

(園芸部 園芸振興課)